

# 降誕節第七主日礼拝

## 《主日朝礼拝式次第》

### 【入祭の部】

前 奏 (黙禱)  
「馬槽のなかに」(讃美歌 21 の 280 番)  
文屋知明作曲

あいさつ  
讃 美 讃美歌 21/448 番  
開会の祈り  
交読詩篇 詩編 105 篇 1~9 節

### 【み言葉の礼拝】

聖 書  
✦ヨハネの手紙一 1 章 1~10 節  
✦ルカによる福音書 19 章 1~10 節  
(新約 P.441、新約 P.146)  
応 答 唱 讃美歌 21/38 番  
教 話 井上隆晶牧師  
『イエスを見るために』

### 使徒信条

### 【聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/81 番  
教会の祈り (連禱)  
平和の挨拶  
讃 栄 讃美歌 21/83 番  
主のいのり  
陪 餐

### 【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/483 番  
感謝の献物  
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番  
派遣の言葉 井上隆晶牧師  
祝福の祈り  
後 奏 (黙禱)  
「われらの神、くすしき主よ」  
(讃美歌 21 の 224 番)  
H.A.メッツガー作曲

### 【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 井上万里子  
奏 楽 飯田雅子  
献金当番 臼井久美子  
受付当番 澤田昌人

### 【本日の予定】

◇教会学校 (朝 9 時 30 分)  
・お話し: 井上隆晶牧師  
◇讃美歌練習 (礼拝後)  
◇合同祈禱会 (礼拝後)  
◇伝道委員会 (礼拝後)

### 【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈り  
・2月11日(火) 午前9時  
・2月14日(金) 午前9時  
◇英会話グループ  
・お休みです。

### 【次週主日 2月16日のご案内】

◇教会学校礼拝 (午前9時30分)  
・お話し: 澤田昌人  
◇主日朝礼拝 (午前10時30分)  
・聖 書  
✦箴言 8 : 32~36  
✦ルカ福音書 15 章 11~25 節  
(旧約 P.1001、新約 P.139)  
・教 話 井上隆晶牧師  
『幸せはどこに』  
・讃美歌 21 432、38、451  
・交読詩篇 詩編 106 : 19~23  
・司式補佐 澤田昌人  
・奏 楽 鹿野幸枝  
・献金当番 アナスタシア・V  
・受付当番 屋宮英男  
◇讃美歌練習 (礼拝後)  
◇合同祈禱会 (礼拝後)

## 聖 句

「イエスがどんな人か見よつとしたが、背が低かったので、見る事ができなかつた。それで、イエスを見るために、いちじく桑の木に登つた。」

(ルカ 19 章 3~4 節)

## 【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》: 10 日(月) 午後 1 時 30 分「大宮保育園昼職員礼拝」、2 時「採用試験」、12 日(水) 午前 8 時 30 分「拘置所面会」、13 日(木) 午前 10 時「全愛幼稚園会議」
- ②《2 月~3 月の行事のお知らせ》
  - 2月9日(日) 礼拝後「伝道委員会」
  - 2月18日(火) 午前10時「心の病の勉強会」
  - 3月2日(日)「謝罪の祈禱・灰の式」、午後1時「定例役員会」
  - 3月5日(水) 午後2時「YWCA 聖書を学ぶ会」会費 500 円
  - 3月9日(日) 礼拝後「教会学校教師会」
  - 3月16日(日)「中部地区交換講壇」(東梅田教会)
  - 3月18日(火) 午前10時「心の病の勉強会」
- ③【祈禱課題】
  - 宗教法人を取り、広い礼拝堂を建築するため。
  - 都島教会が宣教する教会になるため。
  - カルトからの救いのため。
- ④【先週の集会統計】

日	集会	男	女	大人	計	礼拝献金
26	CS礼拝	-	1	5	6	¥1,150
	集会	男	女	子ども	計	礼拝献金
26	朝の礼拝	7	16	2	25	¥11,000
28	朝の祈り	2	2	-	4	
31	朝の祈り	4	2	-	6	

- ⑤【2/2 の献金報告】[月定] 飯田雅子、井上万里子、井上朝子、井上聖一朗、上中岳人、臼井久美子、勝見仁、黒澤なおみ、鹿野幸枝、菱田朱美、松本貴子、山千代憲一、山千代誠子(計 88,500 円) [誕生日・感謝] 井上朝子、阪口恵美子、松岡昭、上田信子、成尾京子、匿名(計 223,000 円) [互助] 井上万里子、屋宮英男、小淵公子(計 3,000 円) [建築] 飯田雅子、井上万里子、匿名(計 206,000 円)  
\* 謝恩日献金は2月末まで受け付けます。ご協力をお願いします。

## 【先週の説教要旨の続き】

④【病気を癒す目的はどこにあるのか】ペトロの姑が高い熱に苦しんでいました。「イエスが枕元に立って熱をしっかりとつけられると、熱は去り、彼女はすぐに起き上がって一同をもてなした。」(39 節) とあります。ペトロの姑が何歳であったかわかりませんが、病気が治ったらすぐに起き上がって一同をもてなしたのは驚きです。「もてなす」とは英語では「wait on」(給仕する)です。ここに病気が癒されるための目的が書かれています。それは自分のためではなく、神と隣人に仕えるためです。聖書が語る、病気の癒しの奇跡は面白いことに手足や感覚器官に集中しています。足のいやしはイエスの後に従ってゆくため、手はイエスのように受け与えるため、耳は真理を聞くようになるため、舌は私たちがイエス様を伝えるため、目は私たちの目が神の恵みに向かって開くようになるためです。  
先日、II コリント 5 章を読みました。4 節に「死ぬはずのものが命に飲み込まれてしまうために、天から与えられる住みかを上に着たいからです。」という言葉がありました。死ぬはずのものとは、この世の私たちの生命、人生です。命に飲み込まれるとは「キリストの復活した命に飲み込まれる」ということです。ある日、この闇の人生の中に、キリストが入って来られたのです。そして私たちに触れてくださったのです。病の人は病気が癒され、カルトに入っていた人はそこから救い出されたのです。イエス様は私たち一人一人に、神に仕える能力を回復させてくださったのです。そうやって命に触れられ、命に飲み込まれた人は、これからの人生をこの命を与えてくださった方の為に使ってゆくのです。

